

## 市内教職員対象アンケートの回答傾向

### ベースカラー（色の希望）に関する意見（49件）

ベースカラーは「紺（紺色）」を推す声が圧倒的に多く、次いで黒・グレー・チャコールグレー・ベージュ・茶系など「落ち着いた濃色」を求める傾向が強いです。理由は、汚れや汗染みが目立ちにくい／冠婚葬祭などフォーマル場面にも使いやすい／誰でも着やすい（無難で指導もしやすい）といった実用面が中心です。一方で、牧之原らしさとして「お茶をイメージした緑（黄緑・カーキ等）」をワンポイントや差し色で入れたいという提案も複数見られ、全体としては「派手さは避けつつ地域性は控えめに入れたい」という温度感（肯定的・現実的）が目立ちます。

### ボタンの色・デザインに関する意見（35件）

「特になし／シンプルがよい」が多く、凝った特注品よりも、紛失・破損時に入手しやすい汎用品（市販ボタンで代替できる等）を望む意見が目立ちます。色はゴールド（または金色）、次いでシルバーなどが挙がる一方、「派手にならない」「華美でない」「公式の場にもふさわしい」など落ち着き重視の条件付きが多いです。また、市章・校章・新エンブレムなど“牧之原に関わる意匠”を入れたい提案も一定数あり、ただしそれも「やりすぎない範囲で」のニュアンスです（肯定的だが慎重）。

### スカート／スラックスのデザインに関する意見（36件）

デザインそのものよりも、運用・機能面の要望が中心です。特に多いのは「ジェンダーレス（性別に関係なくスカートもスラックスも選べる）」「本人が選択できる」「丈やサイズ調整ができる」といった多様性・個別最適への要望です。加えて、洗濯しやすい／しわになりにくい／丈夫／動きやすい／ポケットが欲しい等、家庭負担と学校生活での実用性を重視する声が強いです。否定的というより、「指導負担を増やしたくないのでシンプルに」「手入れが大変なプリーツは配慮を」といった現場目線の懸念が見られます。

### ネクタイ／リボンのデザインに関する意見（30件）

最も多いのは「ワンタッチ・フック式・スナップ等、着脱が簡単で形が崩れないもの」を求める意見で、児童生徒が自分で扱えること、結び方の差や乱れを減らして教員の指導負担を軽くしたい意図が読み取れます。デザイン面は「派手すぎない」「落ち着いた色」が基調で、統一制服にする場合は“学校ごとに色を変える”“スクールカラーで識別する”など、識別性と統一の両立を狙う案が目立ちます。全体として肯定的・実務的な意見が多いテーマです。